

## 5年 研究授業

「なかまとつながる力を育てる」を研究テーマに、今年度最後の学年研究授業を行いました。5年生は、『国際理解』を人権学習の重点にしています。そこで、総合的な学習の時間に「世界の子どもたちは今」という内容で授業に取り組みました。

世界の国の中には、学校に行けない子どもが多くいます。その数は、12人に1人と言う割合です。『自分たちは、当たり前のように通っているのに、なぜ学校に行けないの?』子どもたちの疑問から学習が始まります。一人ひとりが、『自分たちにはできることは何か』を考え、調べ学習に取り組み発表します。これまで『平和学習』や『外国語体験活動』などで他国の現状や文化などに触れてきましたが、国際的な視野に立って世界の子どもたちは今どのような状況なのか、課題を設定し調べ学習を行うのは初めてです。子どもたちは、「なぜ、学校に行けないのか」という課題に対して、隣の人と意見交換をしたり、班でそれぞれの考えを分類・整理したりして考えを深めていきました。班ごとのまとめを発表する場面では、これまでの学習の積み重ねを感じるようなしっかりした発表でした。



## 2年 手話教室

手話サークル「朝なぎ」の向坊妙子さんに来ていただき、耳の不自由な人たちに対して私たちができることや気をつけること、手話について、教えていただきました。子どもたちは、指文字で自己紹介をしたり、ジェスチャーから相手が伝えたいことを考えたりして楽しく学習しました。

向坊さんは『困っている人に気づいたら、すぐに助けをあげようとするのではなく、まず大丈夫ですかと声をかけ、何かできることはありますかと聞いてあげてほしい』と話されました。



## マラソン大会 緑地公園



1月28日(木)、5・6年生が、服部緑地公園でマラソン大会を行いました。これまで、体育の時間やマラソン朝会、休憩時間などに練習し、自己記録更新を目標に頑張ってきました。本番では、決して無理をせず、自分のペースで走り、これまでのタイムを縮めることと完走することを目標に行いました。

6年生の児童にとっては、小学校生活最後のマラソン大会です。自分と闘いながら必死で走る子どもたちに、仲間や先生たちが多くの声援を送りました。また、たくさんの保護者の方も応援に来てくださっていました。「ガンバレ!」の大声援に力をもらった子どもたちは、いつも以上の頑張りを見せ、走り切っていました。

また、5年生にとっては、緑地での初めてのマラソン大会です。6年生の力強い走りを見て、スタート前の気持ちを高めることができました。そして、苦しそうな顔をしながらも最後までがんばって走りゴールした後は、達成感あふれる笑顔でした。来年も頑張るぞと、決意を新たにしましたことでしょう。



## 地震・火災避難訓練

阪神・淡路大震災から21年がたちました。突然やってくる災害に家族を亡くされた方々は、今なお時計が止まったままだと言います。学校では、いつ起きるかわからない災害に備え、昨年度に引き続き、【休憩時間に地震発生。それに伴い給食室から火災が発生。】という想定で避難訓練を行いました。授業時間と違い、先生たちの指示はありません。そこで、前日にDVDを視聴させ、地震や火災が起きた時、どのような行動をとったらよいか考えさせました。

訓練当日。20分休憩に運動場や教室、廊下、図書館などで自由に過ごしていた子どもたちが、避難指示の放送を聞いて一斉に運動場の中央に集まりました。学級毎に整列し、安否確認ができたのは、避難指示から4分50秒後でした。初めて休憩時間に訓練をした1年生は、最初とまどっている様子でしたが、高学年の行動を見たり、声をかけてもらったりしながら無事、避難することができました。

各ご家庭におかれましても、避難経路や避難場所の確認、連絡方法などについてご家族で話し合い、災害に備えていただけたらと思います。



## 1年 おかしあそび

1年生が、地域の方々や保護者の皆様と一緒に昔あそびを楽しみました。体育館に『けん玉』『お手玉』『紙飛行機』『こま』『おはじき』『あやとり』『羽子板』のコーナーを設け、地域や保護者の方々に遊び方を教えていただきました。普段、経験したことがない遊びもありましたが、やっているうちに上手になり夢中になっている子もいました。この昔遊びは、熊野田校区福祉委員会の世代間交流の行事になっており、子どもたちは、校区福祉委員会からノートをいただきました。参加して下さった地域の皆様からは、子どもたちと遊びをとおして楽しい時間を過ごすことができた嬉しい感想をたくさんいただきました。

